



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月7日

上場会社名 シークス株式会社 上場取引所 東
コード番号 7613 URL <https://www.siix.co.jp>
代表者 (役職名) CEO 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 平岡 和也
問合せ先責任者 (役職名) CFO 常務取締役 執行役員 (氏名) 蒲田 顕久 (TEL) 06-6266-6415
経理部長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第3四半期	214,435	△4.7	6,808	6.6	6,915	17.9	4,300	26.6
2024年12月期第3四半期	225,048	△2.0	6,384	△30.6	5,865	△36.9	3,396	△44.2

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 407百万円(△92.6%) 2024年12月期第3四半期 5,481百万円(△63.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	91.28	91.21
2024年12月期第3四半期	72.13	72.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期第3四半期	202,496	99,157	48.7
2024年12月期	217,484	101,033	46.2

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 98,637百万円 2024年12月期 100,436百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	24.00	—	24.00	48.00
2025年12月期	—	24.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	290,000	△4.1	8,500	△0.7	7,500	△9.5	1,000	△73.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 3 Q	50,400,000株	2024年12月期	50,400,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	3,262,347株	2024年12月期	3,311,857株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 3 Q	47,109,578株	2024年12月期 3 Q	47,082,952株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経済環境を顧みますと、米国では、AI需要がけん引する形で製造業生産が増加し、実質所得の増加や株高による資産効果を背景に個人消費は底堅く推移しております。欧州では、個人消費の増加が堅調に推移しているものの、輸出などの減少の影響で景気は減速傾向にあります。アジアにおいて、中国では、米国以外への輸出の増加がみられるものの、不動産不況にともなう不動産投資の停滞および内需の減少が景気を押し下げております。その他のアジア各国では、相互関税発動前の一時的な需要増加により輸出が増加したものの、内需の縮小にともなう景気が減速基調にあります。日本では、個人消費は緩やかに回復しているものの、米国の関税政策の影響で、製造業は減産傾向にあり、力強さを欠いております。当社グループが関連するエレクトロニクス市場は、中国や欧州経済の鈍化や顧客の在庫調整等による需要の減速などにより弱含みで推移しております。しかし、中長期的にはCASEやIoTといった技術革新の進行とともに、気候変動対策および脱炭素対策としての自動車や産業機器の電動化ニーズがさらに拡大していく市場であると認識しております。こうした状況下、当社グループでは、日系・非日系を問わず大手グローバル企業との取引拡大を目指しております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績については、売上高は2,144億3千5百万円と前年同期に比べて106億1千3百万円の減少(4.7%減)となりました。利益面では、営業利益は68億8百万円と前年同期に比べて4億2千3百万円の増加(6.6%増)となり、経常利益は69億1千5百万円と前年同期に比べて10億5千万円の増加(17.9%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は43億円と前年同期に比べて9億3百万円の増加(26.6%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間における業績の分析等については、セグメント別の業績および要因に記載しております。

セグメント別の業績および要因は次のとおりであります。本文中の「セグメント利益」および「セグメント損失」は、四半期連結損益計算書の営業利益を基礎としております。また、「売上高」にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

(日本)

車載関連機器用部材および産業機器用部材の出荷が減少したこと等により、当セグメントの売上高は673億4千6百万円と前年同期に比べて65億7千7百万円の減少(8.9%減)となりました。

利益面では、売上高が減少したこと等により、セグメント利益は4億2千4百万円と前年同期に比べて5億1千3百万円の減少(54.8%減)となりました。

(中華圏)

車載関連機器用部材および家電機器用部材の出荷が減少したこと等により、当セグメントの売上高は562億1千万円と前年同期に比べて54億2百万円の減少(8.8%減)となりました。

利益面では、製造経費の削減等により、セグメント利益は7億4千2百万円と前年同期に比べて7億2千2百万円の増加(3,541.0%増)となりました。

(東南アジア)

産業機器用部材および家電機器用部材の出荷が減少したこと等により、当セグメントの売上高は818億4千1百万円と前年同期に比べて24億9千3百万円の減少(3.0%減)となりました。

利益面では、製造経費の削減等により、セグメント利益は33億8千7百万円と前年同期に比べて6億2百万円の増加(21.7%増)となりました。

(欧州)

車載関連機器用部材および産業機器用部材の出荷が減少したこと等により、当セグメントの売上高は173億3千6百万円と前年同期に比べて31億9千8百万円の減少(15.6%減)となりました。

利益面では、製造経費の削減等により、8億1千1百万円のセグメント損失となりました。(前年同期は9億9千6百万円のセグメント損失)

(米州)

車載関連機器用部材等の出荷が減少したことにより、当セグメントの売上高は563億2千6百万円と前年同期に比べて15億5千3百万円の減少(2.7%減)となりました。

利益面では、製造経費の削減や輸送費の減少等により、セグメント利益は34億3千5百万円と前年同期に比べて8千4百万円の増加(2.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べて149億8千8百万円減少(6.9%減)し、2,024億9千6百万円となりました。

流動資産は、棚卸資産74億9千8百万円の減少(11.7%減)および受取手形、売掛金及び契約資産49億5百万円の減少(8.0%減)等により、前連結会計年度末に比べて101億6千万円減少(6.5%減)し、1,460億5千万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて48億2千7百万円減少(7.9%減)し、564億4千6百万円となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて131億1千2百万円減少(11.3%減)し、1,033億3千9百万円となりました。

流動負債は、一年内返還社債50億円の減少(100.0%減)および短期借入金26億3千4百万円の減少(16.1%減)等により、前連結会計年度末に比べて75億1千1百万円減少(9.6%減)し、709億5千8百万円となりました。

固定負債は、長期借入金53億円の減少(32.2%減)により、前連結会計年度末に比べて56億1百万円減少(14.7%減)し、323億8千万円となりました。

(純資産)

純資産は、為替レートの変動にともなう為替換算調整勘定38億9千6百万円の減少(12.8%減)および利益剰余金20億3千9百万円の増加(3.0%増)等により、前連結会計年度末に比べて18億7千5百万円減少(1.9%減)し、991億5千7百万円となりました。

この結果、自己資本比率は46.2%から48.7%に増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期(2025年1月1日～2025年12月31日)の連結業績につきまして、中国不動産市況の悪化にともなう中華圏セグメントに属する連結子会社の固定資産の評価に関するリスク、および欧州セグメントに属する連結子会社の清算手続きにともなう業績への影響を考慮した結果、前回発表予想を以下のとおり修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	300,000	8,500	7,500	5,200	110.43
今回修正予想(B)	290,000	8,500	7,500	1,000	21.24
増減額(B - A)	△10,000	0	0	△4,200	—
増減率(%)	△3.3	0.0	0.0	△80.8	—
(ご参考)前期実績 (2024年12月期)	302,314	8,559	8,288	3,754	79.75

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,816	25,101
受取手形、売掛金及び契約資産	61,665	56,760
商品及び製品	23,642	23,410
仕掛品	2,319	1,842
原材料及び貯蔵品	38,182	31,392
その他	7,692	7,637
貸倒引当金	△107	△95
流動資産合計	156,211	146,050
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,663	20,849
機械装置及び運搬具（純額）	16,059	12,512
土地	5,118	5,014
その他（純額）	5,066	5,410
有形固定資産合計	48,907	43,788
無形固定資産	2,626	2,193
投資その他の資産		
投資有価証券	2,427	2,625
出資金	1,804	1,801
その他	5,602	6,129
貸倒引当金	△94	△92
投資その他の資産合計	9,739	10,464
固定資産合計	61,273	56,446
資産合計	217,484	202,496

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	41,000	41,236
短期借入金	16,386	13,751
1年内償還予定の社債	5,000	—
未払法人税等	1,582	2,184
その他	14,500	13,785
流動負債合計	78,469	70,958
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	16,479	11,178
退職給付に係る負債	925	971
その他	5,576	5,230
固定負債合計	37,981	32,380
負債合計	116,451	103,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,144	2,144
資本剰余金	5,579	5,513
利益剰余金	68,579	70,618
自己株式	△6,157	△6,064
株主資本合計	70,145	72,212
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△141	△119
為替換算調整勘定	30,491	26,594
退職給付に係る調整累計額	△58	△50
その他の包括利益累計額合計	30,291	26,425
新株予約権	57	12
非支配株主持分	539	507
純資産合計	101,033	99,157
負債純資産合計	217,484	202,496

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	225,048	214,435
売上原価	203,982	193,313
売上総利益	21,066	21,122
販売費及び一般管理費	14,682	14,314
営業利益	6,384	6,808
営業外収益		
受取利息	583	400
受取配当金	78	190
持分法による投資利益	9	25
補助金収入	138	187
物品売却収入	208	132
スクラップ売却益	156	132
その他	447	375
営業外収益合計	1,622	1,444
営業外費用		
支払利息	1,270	677
為替差損	447	354
物品購入費用	101	61
その他	321	242
営業外費用合計	2,140	1,336
経常利益	5,865	6,915
特別利益		
新株予約権戻入益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
事業再編損	176	—
特別損失合計	176	—
税金等調整前四半期純利益	5,689	6,915
法人税、住民税及び事業税	2,125	2,851
法人税等調整額	194	△226
法人税等合計	2,320	2,625
四半期純利益	3,368	4,290
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△27	△9
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,396	4,300

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	3,368	4,290
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△262	22
為替換算調整勘定	2,333	△3,823
退職給付に係る調整額	11	8
持分法適用会社に対する持分相当額	29	△90
その他の包括利益合計	2,112	△3,883
四半期包括利益	5,481	407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,496	434
非支配株主に係る四半期包括利益	△14	△26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	中華圏	東南 アジア	欧州	米州	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	42,649	45,289	69,045	19,437	48,093	224,516	532	225,048
セグメント間の内部 売上高又は振替高	31,274	16,323	15,288	1,097	9,786	73,770	△73,770	—
計	73,923	61,612	84,334	20,535	57,880	298,286	△73,238	225,048
セグメント利益 又は損失(△)	937	20	2,784	△996	3,351	6,096	287	6,384

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 外部顧客への売上高の調整額532百万円は、全社(共通)の区分の売上であります。
 - (2) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△73,770百万円の内訳は、セグメント間取引消去△81,276百万円、全社(共通)の区分の売上7,506百万円であります。
 - (3) セグメント利益又は損失(△)の調整額287百万円の内訳は、セグメント間取引消去62百万円、全社(共通)の区分の営業利益225百万円であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	中華圏	東南 アジア	欧州	米州	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	41,205	41,981	69,202	16,448	45,051	213,889	546	214,435
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26,140	14,229	12,639	888	11,274	65,172	△65,172	—
計	67,346	56,210	81,841	17,336	56,326	279,062	△64,626	214,435
セグメント利益 又は損失(△)	424	742	3,387	△811	3,435	7,178	△370	6,808

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 外部顧客への売上高の調整額546百万円は、全社(共通)の区分の売上であります。
 - (2) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△65,172百万円の内訳は、セグメント間取引消去△73,152百万円、全社(共通)の区分の売上7,979百万円であります。
 - (3) セグメント利益又は損失(△)の調整額△370百万円の内訳は、セグメント間取引消去144百万円、全社(共通)の区分の営業損失△514百万円であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間にかかる四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間にかかる減価償却費(のれんを除く無形固定資産にかかる償却費を含む。)およびのれんの償却額は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	7,242百万円	6,800百万円
のれんの償却額	6百万円	9百万円